

A-cology



Vol.47

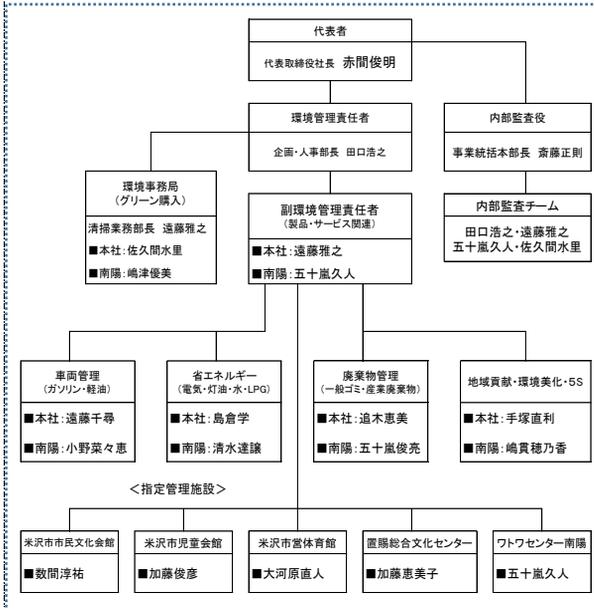
2020.5月号

株式会社エービーエム
エコアクション21推進委員会 発行



令和2年度EA21推進委員会決定!!

令和2年度のエコアクション21推進委員会が決定いたしました。令和元年度同様、環境管理責任者に企画・人事部の田口部長、事務局は清掃業務部の遠藤部長を筆頭に全員が引き続き行うことになりました。新たなメンバーとして、南陽営業所の小野菜々恵さんが車両管理、省エネルギー担当として、設備管理課島倉さんが新任されました。また、指定管理施設では5月にマネージャーに昇格した大河原直人さんがメンバーに加わりました。新たなメンバーで、エービーエムのエコアクションをさらに推進してまいります。しかし、このエコアクション推進委員会だけでは、エービーエムのエコアクションは絵にかいたモチになってしまいます。全社員一人一人がエコアクションをすることで、環境負荷低減につながるとお思いますので、ご協力をお願いいたします。



株式会社エービーエムは、環境省が定めた「エコアクション21」という環境マネジメントシステムを導入し、その認証登録をいたしました。全社員がこの「エコアクション21」への理解を深め、より楽しくエコ活動を進めていただけるように、環境活動情報をもこの「A-cology (エーコロジ)」で発信してまいります。このA-cologyは不要になった児童会館ようさんくんなど、の裏紙を再利用して発行しております。

- ①CO₂の削減
- ②ごみの削減 (リサイクルの推進)
- ③水使用量の削減



今月のECO目標

宅配は1回で受け取りましょう

コロナ禍で外出できない中、ネットショッピングやお取り寄せなどで宅配業者の負担が大きくなっています。今こそ一回でちゃんと受け取るようにしましょう。再配達トラックから排出されるCO₂はおよそ4万2千トンといわれています。御存知のとおり、CO₂が増えることによって地球温暖化がすすむと、異常気象や自然災害など多くの影響があります。また、再配達によって年間9万人分の労働力がかかるといわれています。この結果、宅配業者さんの負担につながり、将来的には料金の値上げにつながり、家計の負担増にもなりかねません。今は、ラインなどで時間変更も簡単に出来ます。またコンビニでの受け取りも出来るようになりました。一人一人の心掛けで、CO₂削減もそうですが、顔なじみのトラックドライバーさんの労働環境の改善にもつながるように、宅配便は一回で受けとるようにしましょう。

What's SDGs? 目標7: エネルギーをみんなにそしてクリーンに

1990年から2010年にかけて、新たに17億人が電力を利用できるようになりましたが、世界人口が拡大し続ける中で、安価なエネルギーに対する需要も増えることとなります。化石燃料に依存し、温室効果ガスの排出量増大をもたらすグローバル経済は、私たちの気候システムに大きな変化をもたらしています。この変化は、目に見えない形で世界中に影響を及ぼしています。しかし、代替エネルギーの利用を促す新たな潮流が生まれており、2011年には、再生可能なエネルギーが全世界のエネルギー供給の20%以上を占めるようになりました。とはいえ、今でも5人に1人が電力を利用できておらず、需要が増え続ける中で、全世界で再生可能なエネルギーの生産を大幅に拡大する必要があります。2030年までに手ごろな電力を完全に普及させるためには、太陽光や風力、地熱などのクリーンなエネルギー源に投資しなければなりません。また、さらに幅広い技術について費用対効果の評価を導入すれば、建物や産業での電力消費量を全世界で14%削減できる可能性もあります。言い換えれば、中規模発電所約1300か所の建設が必要になるのです。すべての開発途上国でインフラを整備し、クリーンなエネルギー源を提供できる技術を改善することは、成長を促しつつも環境保全を図るうえで不可欠な目標です。持続可能なエネルギーの確保は、持続可能な開発のための2030アジェンダを構成する17のグローバル目標の一つです。複数の目標を同時に達成するためには、包括的なアプローチが必要不可欠です。

3月度 環境負荷表 (対象: 本社及び南陽営業所)

本社	購入電力 (kwh)	灯油 (ℓ)	LPG (m3)	ガソリン (ℓ)	LPG (車用) (ℓ)	水使用量 (m)	一般廃棄物排出量 (kg)	産業廃棄物排出量 (kg)	化学物質使用量 (kg)	工口商品購入率 (%)
H30	1,965	444	1.4	1,459	98	32	63.3	0	3.6	66
R.1	2,438	506	1.4	1,222	43	62	48.0	460	0	92
増減	↑	↑	→	↓	-	↑	↓	↑	↓	↑



2018-2019

いろいろあった令和元年度最後のレース3月度1位に輝いたのは、日産クリッパ(設4)でした。前回2位からついに1位に、また、2位に入ったのは、前回トップの日産クリッパ、この2台のデッドヒートはものすごい勢いでした。そして安定の3位日産デイズ、着実にポイントを稼いで年間王者を手にしているような余裕すら感じます。4位5位も14km/ℓオーバーということで高レベルな勝負が見られました。ついにレースは終了し、年間王者は誰なのか、また、令和2年度もスタート、誰がスタートダンプを決めるのか、次回も見逃さない!

3月	燃費	車種	所属	先月
1位	17.1km	日産クリッパ(設4)	設備	2位
2位	16.4km	日産クリッパ(南)	南陽	1位
3位	15.3km	日産デイズ(業7)	清掃業務	5位
4位	14.6km	日産クリッパ(業5)	清掃業務	6位
5位	14.1km	日産クリッパ(設3)	設備管理	3位
参考	20.1km	トヨタ アクア	営業	



国連開発計画(UNDP)駐日代表事務所HPより引用

【編集後記】3月の環境負荷表を見ていただくと昨年と比較すると相当な悪化という結果になってしまいました。これは完全にコロナのせいです。換気を徹底しながら暖房を使用していたため、電力も、灯油の使用量がのきなみアップしてしまいました。正直今年度は非常に良い感じだったのでかなり残念です。でも社員の健康第一ですから、仕方ないですね。次回は令和元年度のエコドライブオブサイヤーが決定します。お楽しみに。ではみなさん健康にエコしましょう!